

その「物語」、の物語。

「ペログリ」的複眼思考の味わい vol.104

a taste of Yassy

田中 康夫



たなかやすお ● '56年生まれ。新党日本代表、作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選、'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選、1期務める。【公式ブログ】 <http://tanakayasuo.net/>



「ノスタルギー」が味わえる 東都随一のドイツ料理店

今週の逸品



牛肉のロール巻 シュペッツレと赤キャベツ添え 2800円

野田浩資氏が営むツム・アインホルンはドイツ料理&ワインに対する先入観を良い意味で裏切ってくれる。ライン川を挟んで仏領のアルザスは優秀な料理人を輩出する地としてパリでは認識。連載101回目のロープ

リユーでも言及したシャルキュトリー=食肉加工品としてのソーセージに留まらず、シュペッツレなる呼称の卵麺と赤キャベツを添えた牛肉のロール巻を食したなら驚歎。接客も含めドイツ料理への評価一変を保証。

【ツム・アインホルン】東京都港区六本木1-9-9 六本木ファーストビルB1 ☎03-5563-9240 ☎11:30~14:00、17:00~22:00、土曜は夜のみ 日祭定休 禁煙 <http://www.zum-einhorn.co.jp/>

illustration by Hajime Anzai

「ベルリンの壁」が崩壊したのは、東ドイツ旧ドイツ民主共和国建国40周年に当たる1989年11月9日。日本では逆に同年7月23日投票の参議院選挙で与野党逆転の「衆参ねじれ」現象が生じ、爾来24年間で首相17人の量産に至ります。

夫が西ベルリン亡命後も、社会主義国家・東独の繁栄を信じて疑わなかった共産圏版ボーイスカウトIIピオネル指導員のクリステアーネは、建国40周年記念式典当夜の10月7日に東ベルリンで、「改革」を求めてデモに参加の息子アレックスと遭遇。心臓発作で倒れ、昏睡状態に陥ります。

8か月後、奇跡的に覚醒するもベッドに横たわる母親は、西側資本のチェーンストアへ国営食料品店が姿を変え、最早、東独製のコーヒーもビクルスも手に入らない

とは知る由も無く、再び強いショックを受けたら命が危ないと医師に警告された息子は、昔の瓶に身を詰めて替え、取り繕います。けれども、集合住宅の向かい側にコカ・コーラの垂れ幕が掲げられ、広場の中古車屋にも自由主義圏の車が並ぶ光景を眺めた彼女は、次第に訝り始めます。壁崩壊後にTV修理工から衛星アンテナの営業マンに転職したアレックスは、仕事仲間の協力を得て、以下の二ユース番組を制作します。

